

## 第2次八代市文化振興計画策定に係るアンケートに対する意見対応表

## 【八代市文化振興懇話会】

意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>山間部の市民に、もっと密にアンケートを取るべきではないか。</li> </ul>	<p>無作為抽出する 3,000 人は、校区の人口に配慮して案分する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象の年齢層が、高齢者と高校生となっており、中間の年齢層がない。</li> </ul>	<p>18 歳以上の市民を無作為抽出するが、年齢に配慮して案分する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化関連だけでなく、違う分野にもアンケートする必要がある。</li> </ul>	<p>無作為抽出により、分野は偏ったものにならないと考える。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>意見の自由記述欄が意見を書くには足りない。アンケートの回答に当てはまらない意見を書く欄が必要。</li> </ul>	<p>対応済み</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>年齢層が偏っているので、バランスよく調査する必要がある。</li> </ul>	<p>18 歳以上の市民を無作為抽出するが、年齢に配慮して案分する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化に興味がない人たちの目をいかに向かせるかが重要で、なぜ興味がないのかなどの把握が必要。</li> </ul>	<p>対応済み</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>該当する番号を「○」で囲むよう記載してあるが、すでに「①」というふうに番号が丸で囲んであるので、記載に配慮が必要。</li> </ul>	<p>対応済み</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの選択肢以外に、「なぜ行なっているか」「魅力は何か」など、表面的なことだけでなく掘り下げることができるような聞き方を工夫してほしい。(記述欄を増やすなど)</li> </ul>	<p>対応済み</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化に関係のない人にアンケートをすることで、文化に関心を持ってもらえることにつながる。</li> </ul>	<p>無作為抽出により、分野は偏ったものにならないと考える。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ文化活動を行っていないかを聞く必要がある。</li> </ul>	<p>対応済み</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高校 1 年生だと高専では八代在住は数人しかいないので、八代の文化には詳しくないかもしれない。対象を上の学年にしてはどうか。</li> </ul>	<p>18 歳以上の市民に調査票を送付する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>八代市外から転入してきた人の外から見た目と、元々住んでいる人とは見る目が違うので、その比較が必要。</li> </ul>	<p>転入者と元々住んでいる人の視点に関係なく、今後の文化振興に必要な取組みであれば、対応していくこととしているため、転入者と元々住んでいる人との比較はしない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>建築やまちなみ、デザインなども文化の種類に加えてほしい。</li> </ul>	<p>文化の範囲は広く、計画において、本市の文化の範囲を定義する必要がある。アンケートに記載する文化の分野については、文化芸術基本法に規定されているものとし、それ以外については、「その他」の欄に「例」として記載する。</p>

## 【八代市文化振興計画策定委員会・策定作業部会】

意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>市のホームページを活用して、全市民を対象にできないか。</li> </ul>	<p>指摘のとおり全市民を対象としても、全市民が回答するものではない。八代市の人口や想定する回答率を統計学的に考慮すると、3,000人を対象とすれば、全市民の意向を反映した結果になると認識している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に通勤している人も調査対象にすることを検討してはどうか。</li> </ul>	<p>18歳以上の市民を調査対象とするため、対応しない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートは、情報政策課にお願いして、携帯等で回答できるようにすれば、文字を書くことが苦手な人にとっては答えやすいのではないか。市報等にQRコードを載せて、アンケートを実施している旨を周知すれば、回答は増えるのではないか。</li> </ul>	<p>情報政策課はアンケート作成に関与しない。熊本県電子申請システム（よろず申請本舗）で、文化振興課がアンケートを作成することで対応できるが、今からその方法を習得していくと時間的な制約が生じる。</p>